

えほんの紹介

『おちやのじかんにきた とら』

ジュディス・カー 作・絵 晴海 耕平 訳
童話館出版

ソフィーという小さな女の子が、お母さんとお茶の時間にしようとしていました。すると、げんかんのベルがなり大きなとらがいて「おちやにごいっしょさせてください」といいました。そこで、二人と一匹の楽しいお茶の時間が始まりましたが、なんととらの食べることを食べて！よほどおなかですいていたのでしょ。何をどれだけ食べたのか絵本の中で見つけてくださいね。

もしかしたら、大きなとらがまたどこかのお家へお茶をしにくるかもしれませんね。

おちやのじかんに
きた
とら

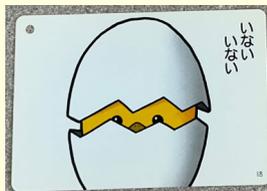


小さなおともだち “笑顔がもどった日”

入院してから約一ヶ月半、泣く日が続いていた二才のHちゃんでしたが、今日は久しぶりにニコニコしています。それは院内保育のできごとでした。

これまでおもちやうさぎの指人形などを見せても興味をもってもらえずにいましたが、カードの「いない いない ばあ」で、ひよこが殻をやぶって「ばあ」とでてきた絵を見たたん、ニコリ笑ってくれました。それから木製のパズルにも興味しんしん。それを見て周りのおとなたちもニコニコになりました。ママも一安心。

つらい検査や治療も絵本やパズルなど、保育で少しずつ気持ちが紛れていってくれるといいですね。



『へびのクリクター』

トミー・ウンゲラー 作 中野完二 訳 文化出版局



フランスに住むポドさんは、ブラジルで爬虫類を研究しているひとり息子から、誕生日の贈り物にへびをもらいました。ポドさんは箱を開けた時「キヤー」と叫びましたが、そのへびにクリクターと名前をつけて子どものように育てかわいがっていました。クリクターは子どもたちと遊ぶのが大好きでとても親切でした。

ところが、ある日、ポドさんの家にどろぼうが入ったのです。その時のクリクターの活躍ぶりは絵本を見てのおたのしみです。

その後、クリクターは町中の人に愛され尊敬されて幸せに暮らしました。

へび好きの人もそうでない人も安心して楽しんでいただけますよ。

絵本クイズ

絵本を見ながら、クイズに答えてくださいね。

- ① おおきなかぶを何人がかりでぬいたかな？
a 100人 b 1人 c 6人 「おおきなかぶ」
- ② 最後におだんごぼんをたべたのはだれ？
a ぶた b きつね c らいおん 「おだんごぼん」
- ③ おかあさんかばが小さなヒッポに教えた大切なことばは何？
a たすけて！ b うれしい c おなかですいた 「ちいさなヒッポ」
- ④ ハリーのきれいなことはな～んだ？
a おあずけ b おふろ c おるすばん 「どろんこハット」
- ⑤ 森であそんでいたぼくを迎えにきたのはだれ？
a おじいちゃん b おにいちゃん c おとうさん 「もりのなか」

o-⑤ q-④ e-③ q-② o-① (ㄣㄣㄣ)

季節のわらべうた

♪ 二才のたきのぼり
なんとゆーてのぼるか

五月の空に鯉のぼりが風をうけて泳いでいます。滝をのぼる鯉のように健やかな子どもたちの成長をねがう祈りの歌です。
この歌では、二人組が手をつないでトンネルをつくり、みんなで歌いながら別の二人組がトンネルをくぐります。順番にくり返しくぐりこして遊びます。

